



▲寄付を市長に手渡す吉田健一さん(右)

観光の振興に役立てて

吉田健一さん 登別市にふるさと納税

6月17日(金)、登別市出身で、登別市ふるさと大使『鬼大使』の三味線奏者『吉田兄弟』の吉田健一さんが『登別市ふるさとまちづくり応援寄附金』として昨年3月に続き10万円を寄附されました。

この寄附は、登別市を応援する方から、活力あるふるさとづくりや協働のまちづくりに役立てるためいただいているもので、吉田さんは観光の振興に役立ててほしいと寄附。その後、吉田さんと市長は、東日本大震災の被災地でのボランティア活動など、吉田さんの最近の活動状況について懇談しました。

6/17

生涯学習に励みます

平成23年度登別ときめき大学開講式

6月13日(月)、市民会館で平成23年度登別ときめき大学開講式(市主催)が行われ、216人の受講生が学習への意欲を新たにしました。

登別ときめき大学は、60歳以上の方が対象の『登別市ときめき大学』と、20歳以上の女性の方が対象の『登別市婦人短期大学』を統合し、市民の誰もが生涯学習に取り組める場として、今年度から開設したものです。

開講式の後には、開講講演会として、大学総長の小笠原市長が『登別のまちづくり』と題して講演し、受講生はメモを取りながら熱心に聴き入っていました。

6/13



▲講演する市長(右)と耳を傾ける受講生ら

登別で中学時代最高の思い出を

首都圏修学旅行誘致事業による
中学校修学旅行の初実施

5月28日(土)〜30日(月)、横浜市立蒔田中学校の生徒や教師168人が修学旅行で西胆振を訪れました。

北海道登別洞爺広域観光協議会は、平成18年から『首都圏修学旅行誘致事業(中学校)』を行っており、今回はその成果によるもの。29日に洞爺湖町で西山山麓火山群散策などの自然環境学習をした生徒たちは、30日のクラス別コース選択で登別を訪問。『登別伊達時代村』を訪れた生徒たちは、『忍者かすみ屋敷』や『忍者砦』で繰り広げられるアクションを楽しんだほか、『のぼりべつクマ牧場』を訪れた生徒たちは、クマの餌作りを体験。自ら手作りした餌を、クマが食べる姿を見て、目を輝かせていました。

5/28
~30



▲アドバイスを受けながらクマの餌作りに奮闘する生徒